

2013/7

No.15



医療法人 成精会

刈谷病院

Harmo-net

ハ〜モネット

これからの意気込み ～院長就任にあたり



院長 垣田 泰宏



みなさまにこの文章をご覧いただいているのは7月、猛暑になっている頃と思います。とかく体調を崩しがちな時期ですが元気にお過ごしでしょうか。

長らくみなさまにご不便ご迷惑をおかけしました新病棟・外来管理棟と駐車場の工事が4月26日をもって終了しました。5月25日にはこの新しい環境でリニューアルした「あったかハートまつり」がみなさまのご協力のもと無事に終了いたしました。晴天に恵まれ、夏を思わせる暑さでしたが1100名を超えるみなさまに参加していただきました。

私はというと、この真新しい環境の中、4月より院長に就任いたしました。よくみなさまに「大変でしょう」とお声をかけていただくのですが、当の本人は大変さを実感する間もなくってこ舞いの毎日です。

今回は就任にあたり今後の刈谷病院の管理運営にかける意気込みをお話したいと思います。それは、刈谷病院をみなさまから良い病院だと評価していただけるよう努力し続けることです。理念にあります「ゆたかな心、こまやかな関わり、最新の医療」のもと、職員とともに日々取り組んでまいります。

良い病院という表現は漠然としていますが、3つの視点から考えております。

1つ目は患者さんとご家族にとって良い病院であることです。患者さんやご家族の視点に立った治療、リハビリテーション、相談・援助など質の高い総合的な支援を提供できるよう研鑽を積んでまいります。

2つ目は地域にとって良い病院であることです。地域の医療機関、行政、福祉のみなさまの求めに迅速かつ誠実に対応し、連携しやすい体制を組んでいきます。また、地域住民のみなさまに開かれていて訪れやすい雰囲気づくりに力を注いでまいります。カフェ・シンフォニアに立ち寄っ

ていただいたり、ボランティアを通じた相互交流をおこなってまいります。病院と地域のみなさまで企画運営する、あったかハートまつりを今後も継続してまいります。

3つ目は刈谷病院の職員にとって良い病院であることです。職員がやりがいをもって働き、新しい医療を学び、成長を実感できる職場作りに取り組んでまいります。時代のニーズに合わせながら基本方針はぶれず常に現状を見直し変化し続けます。このことがみなさまに常により良い医療を提供する土台になっていくと考えております。

以上の取り組みを通じ医療の枠を超え地域のすべての人にこころの健康を発信できる病院をめざしてまいります。

かくいう私自身まだまだ駆け出しの未熟者です。みなさまからご指導、ご鞭撻をいただきながら成長していきたいと思っております。今後とも刈谷病院ともどもよろしくお願い申し上げます。

ゆたかな心、こまやかな関わり、最新の医療

当院の理念

- ① 患者さんに差別のない目、ゆとりのある態度で接すること
- ② 患者さんに、患者さんの立場にたった思いやりのある態度で接すること
- ③ 従来の自分たちの治療に満足せず、常に新しい医療に目を向け、より良い治療を目指すこと

当院の基本方針

- ① 病気と治療に対する十分な説明と了解のもとに医療を実践します
- ② 精神科救急に積極的に取り組みます
- ③ 精神科リハビリテーションに積極的に取り組みます
- ④ 地域生活支援に積極的に取り組みます
- ⑤ 地域の医療機関、行政、福祉施設等との連携に積極的に取り組みます
- ⑥ 精神保健医療福祉についての啓蒙活動に積極的に取り組みます
- ⑦ 職員の研修と研鑽に積極的に取り組みます

「救急病棟ってどんなところ?」

みなさんは精神科救急にどのようなイメージをお持ちですか…?では、想像してみてください。自分や家族、親しい友人が、突然言いようのない恐怖にかられる、夜中に突然大暴れしたり訳の分からないことを叫びだす、そんなときどうすればいいのでしょうか。

各都道府県の精神科救急情報センターに相談すれば、受け入れてくれる当番病院を紹介してくれます。もちろん大暴れしているようなら110番通報が必要かもしれません。そんな精神的混乱の激しい方を受け入れるための設備とスタッフを整えている病棟だと思ってください。ただし、夜間休日の受診は、当番病院というシステムによって、行きたい病院を指定することはできません。もちろん、当院の通院患者さんが、病状の悪化によって入院治療が必要だと主治医が判断した場合は、当院の救急病棟(A3病棟)に予約入院することはできます。



当院の救急病棟の紹介

病床数(ベッドの数)は48床で、その内個室が24床あります。もちろん救急病棟なので10床は隔離室といわれる鍵のかかる部屋となります。症状が激しい方は、入院時から施設して使うこともあります。一昔前の隔離室は、暗く冷たいイメージが残る部屋でしたが、今回新棟の隔離室は、木目調の壁と床で、トイレもプライバシーが保たれる空間にし、できる限り広く明るく、そして静かな時間が提供できるよう苦慮して作り上げました。激しい急性期が過ぎれば、普通の個室や4人部屋に移っていただけます。以前は8人部屋や6人部屋が当たり前の精神科病棟でしたが、今はゆっくり一人で過ごせる個室も増え、ベッド上でのTV視聴も可能です。各部屋にはトイレと洗面所も設置され、衛生面にも配慮しています。病棟のデイルームの窓は天井から床までの大きなガラス窓で、明るく開放的なうえに、窓から見える児童公園で遊ぶ子供たちの姿は心を和ませてくれます。

治療は薬物療法が主体ですが、入院時から退院後の生活をイメージした支援プログラム(急性期パス)に沿って治療を進めます。十分な睡眠と休息、そして退院に向けてのリハビリテーションのもと、1日も早い回復を、患者さんとともに目指す医療チームとして働いています。

昨年の12月からの運営で、不備な点多々あるかと思いますが、これからもスタッフ一同、当院を必要としてくださる皆様に安心と質の高い医療を提供できるよう心掛け努力していきます。



刈谷市障害者支援センター紹介

第1回「結」の紹介



平成24年4月に刈谷市障害者支援センター(以下センターとする)が開所されました。地域活動支援センター「結」はセンターの2階にあります。開所してから1年2カ月が過ぎ、登録者も増え、現在83名(平成25年5月末現在)の方に登録いただいております。登録者の年齢層は、18歳から60歳代の方まで、幅広くなっています。顔馴染みの利用者も増え、ゆったりとした空間で、和やかな雰囲気でお過ごしておられます。

利用日時は、月～土曜日の午前9時～午後7時です。午前と午後にプログラムを用意しております。軽スポーツやパソコン教室、カラオケ、お菓子作り、創作活動、ウォーキングにも出かけます。また時に美術館などへの外出や、月1回さまざまなテーマで講演会や座談会を行っています。季節を感じるものや、利用者の方の希望も取り入れながら、楽しい時間を過ごしていただけるよう工夫しています。利用にあたっては、登録が必要になります。決められた曜日や時間に利用するのではなく、それぞれの生活のペースに合わせた利用をしていただいております。居場所として利用される方や、プログラムを楽しみにしておられる方、他の人との交流をしたいと思っている方など利用の目的はさまざまです。

「結」ができたことで、昼間や夕方の居場所ができてよかった、自分のペースで利用できるのが嬉しい、外に出るきっかけとなった、友達ができたとの嬉しい声が聞かれています。「結」を利用することで、地域で暮らしておられる障害をお持ちの方々が、さまざまな方との出会いや機会を通して楽しみが増え、少しでも心豊かな生活を送ることができるお手伝いができればと思っています。

最近のトピックスは、昨年から利用者の方を中心に準備をしてきた新聞「結タイムズ」創刊号が出来上がったことです。話し合いを重ね、先日やっと完成しました。利用者の方々の思いがたくさん詰まった内容となり、皆とても満足の出来となりました。利用者の声をお届けすることで、「結」の活動を知っていただき、たくさんの方の利用につながることを、またこの新聞を目にした方々が、障害者の方のことを知っていただき、理解を深める機会になることを願っています。またセンターのホームページでは、月1回程度、結の日々の様子を「結通信」として発信していますので、機会がありましたらぜひご覧ください。



文責：相澤 道子(結 管理者)

<第8回あったかハートまつりを終えて>

先日、第8回あったかハートまつりが2年ぶりに開催されました。今年は晴天に恵まれ陽射しは強かったですがカラッとしまつり日和になりました。地域との繋がりを趣旨に行われている、あったかハートまつりですが、近隣の学校、ボランティア、民生委員、施設などたくさんの方の協力の下、成し遂げることができました。普段は看護師として病棟勤務をしています、まつりを通して地域の方々とコミュニケーションをとることで多くのことを学び、貴重な体験をさせて頂き、自分自身の財産となりました。人は人から人にしてもらう！先輩からの教えですが、これからも地域の方々と関わりながら自己の成長と共に刈谷病院が“地域の病院”として発展できるように努めていきたいです。

(看護師 松崎 勝彦)



カリヤ病院物語 第14回

作：Qちゃん



編集後記

広報委員を初めてやらせていただき、何がなんだか分からないまま過ぎていってしまいました。今回のハーモネットはいかがでしたか？ まだまだ分からない事ばかりですが、今後も皆さんに愛読していただけるよう努力していきますので、今年もハーモネットをよろしくお願ひします。

(広報委員会 小沢 好香)

カンタン vol.14 お手軽！ 簡単レシピ

夏バテ予防に！スタミナ・時短レシピ！ 簡単おいしい冷しゃぶサラダ★

暑い季節になってくると、食欲がなくなってしまう事もありますね。そんな時こそ食欲をそそる工夫と、体力の消耗を防ぎエネルギー代謝をサポートするビタミンB群を食事に取り入れ、夏バテを防ぎましょう！

作り方

- ① 鍋にお湯を沸かす。
- ② カットサラダをさっと水にくぐらせて、水気を切る。
- ③ お湯が沸いたら、豚肉を広げながら入れ茹でる。
- ④ 肉の色が変わったら氷水にとり、水気を切る。
- ⑤ 皿にサラダ、豚肉を盛り、ごまだれをかけて完成！

☆ごまだれ以外でも和風ドレッシングなどでもおいしいですよ！

ワンポイント

スタミナ食材の豚肉・にんにくやネバネバ食材の長いも・オクラ・納豆・めかぶなどを食べて、暑い夏を乗り切りましょう！

管理栄養士 大石 真琴

【時間：7分 カロリー：250kcal】

材料 (2人分)

- 豚もも(しゃぶしゃぶ用).....180g
- カットサラダ.....1パック
- ミニトマト(お好みで).....3個
- ごまだれ.....大さじ3

☆カットサラダは、スーパーなどで、あらかじめ切って袋詰めされているサラダです。手軽で簡単に調理することができますよ！

患者さんの権利	● 人間としての尊厳が認められる権利	● 医療を選択し、自己決定する権利	患者さんの責任
	● 平等に医療を受けられる権利	● 治療スタッフを知る権利	
	● 十分な説明を受け、知る権利	● 個人情報の秘密が厳守される権利	

● 治療上のルールを守り、治療に参加する責任

● 治療上で必要な情報を提供する責任

● 医療費を支払う責任

編集・発行 / 神経科・精神科 医療法人 成精会

刈谷病院

〒448-0851 愛知県刈谷市神田町2-30 TEL(0566)21-3511 FAX(0566)21-3536
<http://www.kariya-hp.or.jp> 携帯HP <http://www.kariya-hp.or.jp/l/>

●JR東海道線刈谷駅南口下車 徒歩10分 ●名鉄三河線刈谷駅南口下車 徒歩10分